

令和7年度ひまわり応用研修

「2025年改訂版 心不全診療ガイドライン をナナメ読み」

「ひまわり応用研修」は、在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識を習得するため、地域の医療機関等と協働して開催していきます。

今回は、心不全診療ガイドラインについて、医師から学びます。

令和7年

12月3日(水)

19:30~20:45
(19:20入室開始)

会場

ZoomによるWeb開催

費用

無料

対象

医療・介護関係者
(定員100名)

**講 義：「2025年改訂版 心不全診療ガイド
ラインをナナメ読み」**

(質疑応答を含み60分)

座 長：高木 康博 先生（高木医院 院長）

**講 師：千葉大学医学部附属病院 循環器内科
岩花 東吾 先生**

※最初の10分程は船橋・習志野心不全連携協議会の事務連絡や
意見交換の時間になります。 申込方法については裏面をご覧ください→



船橋在宅医療
ひまわりネットワーク

申込期日 令和7年11月26日(水)

申込方法 次のいずれかの方法により、お申し込みください。

1. 下記URLもしくは左記二次元コード

【URL】 <https://forms.gle/z4HqXCrBur6Y3hrQ7>

2. メール(下記問い合わせ先)

件名: 12/3開催・ひまわり応用研修申込み

本文: ①氏名 ②勤務先・所属 ③職種 ④電話番号
⑤メールアドレス⑥講師への事前質問(任意)



※研修会への参加にあたり、ID・パスコード・資料など、研修の参加に必要な連絡事項について12月1日(月)までにメールにてご連絡いたします。届かない場合は、事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先

船橋在宅医療ひまわりネットワーク事務局

(船橋市 地域包括ケア推進課内)

[TEL] 047-436-2354 [FAX] 047-436-1005

[E-mail] hokatsu-care@city.funabashi.lg.jp

~~~~~

## 人材育成委員会の活動について

研修会参加者にひまわりポイントを付与し、ポイントを貯めた方をひまわりマイスターとして認定します。

船橋在宅医療ひまわりネットワーク人材育成委員会では、医療及び介護専門職等が連携を図る上で必要な知識を習得する機会を以下の研修スキームに沿って設けています。



### 【在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系】

#### R7在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系(暫定版)

【目的】 多職種(及び多機関)による連携により、本人のその人らしさを支える支援を行う

【目標】 本人が満足できる連携の知識を習得し、連携をマネジメント出来る！

すそのが広がる！

○疾患別の特徴等に応じた基礎的な知識(※1)、在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識(※2)を通じて、多職種(及び多機関)連携の必要性を学び、活かす。

○「対話」を通じて、本人の尊厳を守る(本人の選択・決定)支援をどのように行うのか学び、活かす。

○医療・介護関係者が本人の尊厳を意識した多職種協働による一的な連携(アプローチ)方法を学び、活かす。

○多くの医療・介護関係者が、多職種(及び多機関)の協働・連携に関する研修に参加する。

○医療・介護の職種によりそれぞれ視点があることや、個々の価値観や文化も様々であることを学び、活かす。

○顔の見える関係、仲間づくりを行える。

#### 【研修体系スキーム】

※2【ひまわり連携応用研修】

- ・在宅医療と介護連携のイメージを想定した応用的な知識を習得する。
- ・多職種(及び多機関)によるチームアプローチや病院・在宅の連携方法等を実践的に学ぶ。

研修領域は定めず、医療と介護が主に共通する4つの場面「日常の療養支援」「急変時の対応」「入院支援」「看取り」等の実際の場面を想定した研修。

#### 研修領域

##### 疾患編

悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、難病、感染症など

##### その他

高齢者特性、緩和ケア(非がんを含む)、災害など

各研修の修了時に、ポイントを取得

ひまわりマイスター認定  
検討中

各団体においては、各職能別・施設ごとに必要な基礎知識を習得できる研修会を実施するとともに、ひまわり研修への参加の働きかけを行う。

【ひまわりネットワークの目指す多職種連携とは】

準備中



船橋在宅医療  
ひまわりネットワーク